

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結ぶ —

校長室だより No.38

“やさしく かしこく たくましく”

～ 本気と礼節の教育 ～

令和5年2月13日 文責:安生昌弘^{あんじやう あさひろ}

◆ まもなく、わくわく授業参観

先週、学校では新1年生の体験入学が行われました。昨年はコロナ禍によって保護者説明会だけを開催したので現1年生には申し訳なかったなあと一年前を思い返しています。体験入学の前日に廊下で会った、ある1年生は「明日、来年の1年生が来るんだよ」と、うれしそうに話していました。



さて、今週末17日（金）は初の「わくわく授業参観」です。名前からも分かるように、11月に開催していた「わくわく発表会」（学習発表会）の新しい形です。以前に比べて良い点がいくつかあります。

1. 一年間の学習の成果や育ちの姿を見ていただける。（11月では途中経過だった）
2. 学級単位で行うので、一人一人の活躍の場が多い。
3. 発表内容や表現活動への担任の指導が行き届く。…などです。

一年間の学習成果を学級ごとに授業の中で発表します。日頃の授業中の様子を見ていますと、お子さんによって差はあるものの、間違いなく全員が成長をしていると感じます。是非、お子さんの成長をご覧ください。



◆ あいさつ百景

朝、昇降口の前では、実に様々な光景が見られます。私のいる所まで来て立ち止まり、お辞儀をしながら、あいさつする子。遠くから大きな声であいさつする子。わざわざ遠回りして私の前を通り過ぎながら、あいさつする子。あいさつした後に、短い会話をしてくれる子。小さな声で会釈しながらあいさつする子。会釈だけであいさつを返す子。恥ずかしいのか、聞こえない振りであいさつを返さない子。あいさつをしたくないのか離れた入口から素早く入ってしまう子など百人百様です。

しかし、4月当初から比べると、あいさつを返せる子は確実に増えました。10ヶ月かかってあいさつを返せるようになった子を見かけると感動的です。ある朝、子どもと一緒に来たお母さんがつぶやきました。「うちの子は、あいさつしないんだ…」と。お子さんはどのタイプだと思われますか。今、あいさつが全般的に一番良いのは1年生です。あいさつは早い時期から習慣になると良いのかなと感じます。成長するにしたがって恥ずかしさが出てきてしまうようですから、その前に習慣化するのがポイントでしょう。



学校と家庭がタッグを組み、一つ（ハイブリッド）になって2倍以上の力（パワー）で効果的に子どもたちを育てたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。